



写真:ツグミ (撮影:平成29年2月6日)

「ツグミ」

だるまさんがころんだ

待 ちに待ったスケートの季節。青空の下、白いリンクはたくさんの方の黄色い声。冬の到来です。多くの植物は葉を落とし、昆虫たちは冬眠します。生き物たちとの出会いは春までお預け。ではなく、実は冬だからこそ出会える生き物もたくさんいます。

冬鳥と呼ばれ、遠くシベリアなど北の大地から冬を越すために日本を訪れる野鳥たちがいます。その代表ともいえるツグミ。市内の全域で見られます。初冬は樹上で活動していますが、寒さが厳しくなるころには畑地や草原で採餌する姿が見られます。えびの高原では、スケート場周辺の遊歩道で、他の冬鳥と混じり、落ちていた植物の種子等をついばんでいる姿が見られます。ツグミをじっくり観察していると面白い行動をします。こちらが一定の距離に近づくと、走り出してピタッと止まりまします。また近づくとピタッと止まり「だるまさんがころんだ」と言っておぼろげになるような行動がとてほほ笑ましい鳥です。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ツグミ
Turdus eunomus

スズメ目 ツグミ科